

新座市立第五中学校区（5中モデル） 情報活用能力育成計画表

学習内容	資質・能力			小学生			中学生1年	中学生2年	中学生3年			
	観点	趣旨	小項目	1・2年生	3・4年生	5・6年生						
				STEP 1	STEP 2	STEP 3						
基本的操作 【主に素早い学習・総合的な学習の時間】	A 知識・技能	①情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	a情報機器の基本的な操作技能(情報の入力)	起動や終了、ログイン・ログアウト、写真撮影などの基本操作ができる	キーボードで文字入力ができる(10文字程度/1分間)	文字入力ができる(30文字程度/1分間)	「ベネッセまなびじょん」を使用し、ホームポジションを習得する。タイピング日本語入力にて、3級を取得する (パソコンスピード認定試験合格を推奨) 主催:日本情報処理検定協会 後援:文部科学省 年間2回実施	「ベネッセまなびじょん」を使用し、タイピング日本語入力にて、準2級を取得する (パソコンスピード認定試験合格を推奨) 主催:日本情報処理検定協会 後援:文部科学省 年間2回実施	「ベネッセまなびじょん」を使用し、タイピング日本語入力にて、正誤タイピングの数値を年度当初より改善していく。 (パソコンスピード認定試験合格を推奨) 主催:日本情報処理検定協会 後援:文部科学省 年間2回実施			
			b情報機器の基本的な技能(アプリケーション等の使用)	学習支援アプリケーションを選択・操作できる	オフィス系アプリケーションを選択・操作できる	目的に応じてアプリケーションを選択・操作できる	目的に応じて適切にアプリケーションを選択・操作できる。 Google系アプリ(classroom, Meet, Calender, camera, Jambord)、スプレッドシート、スライド、ドキュメント、Googleフォーム) 授業アプリ(ロイノート) 外部webアプリ(canva, youtube)	Google系アプリ(classroom, Meet, Calender, camera, Jambord, スプレッドシート、スライド、ドキュメント、Googleフォーム) 授業アプリ(ロイノート) 外部webアプリ(canva, youtube)	目的に応じて適切にアプリケーションを選択・操作できる。 Google系アプリ(classroom, Meet, Calender, camera, Jambord, スプレッドシート、スライド、ドキュメント、Googleフォーム) 授業アプリ(ロイノート) 外部webアプリ(canva, youtube, ChatGPT(文筆生成AI), DeepArt(画像生成AI))			
			c情報機器の基本的な技能(シェアリングスキル)	【情報機器全般】 クリック、ダブルクリック、ドラッグ、ドロップ、タップ、スワイプ、ピンチイン・アウト、[アプリケーション] ・googleMeetの参加・発言・コメント ・ロイノートの参加・操作・発言・解答	【情報機器全般】 クリック、ダブルクリック、ドラッグ、ドロップ、タップ、スワイプ、ピンチイン・アウト、[アプリケーション] ・googleMeetの参加・発言・コメント ・ロイノートの参加・操作・発言・解答 ・Googleフォームの解答	【情報機器全般】 クリック、ダブルクリック、ドラッグ、ドロップ、タップ、スワイプ、ピンチイン・アウト、切り取り、コピー、貼り付け、 【アプリケーション】 ・googleMeetの参加・発言・コメント ・classroomの参加・閲覧・発信 ・ロイノートの参加・操作・発言・解答 ・Googleフォームの作成	スクリーンショット(画像・動画)の基本的な操作(ショートカットキー) 【アプリケーション】 ・音声入力方法(ロイノート・ドキュメント) ・表計算ソフト(簡単な関数) ・Googleフォームの作成					
			d情報機器の基本的な操作技能(検索や保存)	【検索】 キーワード検索ができる 【保存】 ファイルを開く、ファイルを保存する	【検索】 +、-などの論理演算子を用いた検索ができる 【保存】 ファイルの検索	【検索】 and検索、or検索、*検索、*検索、関連画像検索、ハッシュタグ検索 【保存】 保存場所の選択、上書き保存、名前をつけて保存、ファイルの移動・コピー・削除	【検索】 目的に合った検索ができる。 【保存】 見やすく、わかりやすくデータを整理できる。 ・ロイノート ・ファイルやフォルダを操作し、整理する					
情報活用 【各教科等】 各教科の扱いは別表	A 知識・技能	①情報活用の方法(アプリケーションの活用)	a見直し	情報活用の見直しをもてる	目的を意識して、自ら情報活用の計画を立案できる	問題解決に向け、自ら情報活用の計画を立案できる	情報通信ネットワークなどからの効果的な情報の検索と検証の方法	所与の条件を踏まえて、情報活用の効果的な計画を立案できる	意見と根拠、具体と抽象などの情報と情報との関係を見直し、情報活用の効果的な計画を立案できる			
			b収集	情報を収集する身近な方法を知り、実施できる	情報を収集する基本的な方法を知り、実施できる	調査を設計し、情報を適切に収集・検証できる	統計的な調査を設計し、情報を適切に、効果的に収集・検証できる	情報通信ネットワークから得られた情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方	情報通信ネットワークや生成AIから得られた情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方			
			c整理	絵や図、簡単な表やグラフを用いて情報を整理できる	表やグラフなどを用いて情報を整理できる	目的に応じて、表やグラフを用いて情報を整理できる	目的に応じて、観測の決まった表やグラフを用いて情報を整理できる	目的に応じて、表やグラフを用いて整理できる	目的に応じて、表やグラフを用いて情報を統計的に整理できる			
			d分析	1〜2点の情報から、その大体を捉えらる	2〜3点の情報から、傾向、変化を捉えらる	複数の情報から、傾向や変化を適切に捉えられる	目的に応じて収集した資料から、傾向や変化を適切に捉えられる	目的に応じて収集した複数の資料と比較し、傾向や変化を適切に捉えられる	目的に応じて収集した複数の資料や生成AIとの対話から、傾向や変化を適切に捉えられる			
			e表現	相手に意識して表現できる	相手や目的を意識して表現できる	相手や目的に応じて表現できる	相手や目的に応じて、適切に表現できる	情報と情報を組み合わせ、相手や目的に応じて、適切に表現できる	情報と情報を組み合わせ、相手や目的に応じて、複数の表現方法を用いて、適切に表現できる			
			f発信	相手に応じて情報の発信・文脈ができる	相手や目的に応じて安全に情報の発信・文脈ができる	相手や目的に応じて適切に情報の発信・文脈ができる	相手や目的を意図したプレゼンテーション	相手や目的に応じて効果的に情報の発信・文脈ができる	相手や目的に応じて効果的に情報の発信ができて、聞き手とのやりとりを含む文脈ができる			
			g留め	クラウド等を用い、ファイルの呼び出しや保存ができる	クラウド等を用い、ファイルを検索できる	クラウド等を用い、ファイルやフォルダを適切に管理・活用できる	ロイノートを用いて、情報を共有・活用できる	ロイノート、canvaを用いて、情報を効果的に効率よく共有・活用できる	ロイノート、canva、生成AIとの対話を用いて、情報を効果的に効率よく共有・活用できる			
			h振り返り	情報活用を振り返り、自らの解決のよさを確かめられる	情報活用を振り返り、改善点を見いだせる	情報活用を振り返り、効果を見いだせる	情報活用を振り返り、観点を決めて評価し、改善できる	情報活用を振り返り、効率化の観点を含めて評価し、改善できる	情報活用を振り返り、他者の意見を含む多様な観点から評価し、改善できる			
B 思考力・判断力・表現力等	②情報を活用する力	a情報を客観的に捉え、分析・判断する力	事実や根拠に基づき、分析・判断できる	事実や根拠に基づき、適切に分析・判断できる	調査を設計し、情報メディアの特性を踏まえて、効果的に情報検索・検証し、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、整理する	調査を設計し、情報メディアの特性を踏まえて、効果的に情報検索・検証し、「考えるための技法」を組み合わせ、整理する	調査を設計し、情報メディアの特性を踏まえて、効果的に情報検索・検証し、「考えるための技法」を組み合わせ、整理する					
		b情報を結び付けた新たな意味を見いだす力(創造的思考)	1、2点の情報から、分かったことをまとめる	2、3点の情報と比較したり、関係付けたりして、新たな意味を見いだせる	得られた情報について論理的に考察し、新たな意味を見いだせる	情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を考察する	情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする	情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、多様な立場を想定し、問題に対する多様な解決策を明らかにする				
		c多角的に検討しようとする態度	事象と関係する情報を見付け、検討しようとする	事象のつながりを捉えて検討し、考察しようとする	事象を構造的に理解し、批判的に考察しようとする	目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせ、聞き手や考え、ICTを使用し、効果的に表現する	問題に対する多様な解決策を明らかにする目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する	メディアとコミュニケーション手段を考え、問題に対する多様な解決策を明らかにする目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する				
C 学びに向かう力・人間性等	③情報活用への態度	a試行錯誤し、改善しようとする態度(自己調整)	情報活用を振り返り、自らの解決のよさを見付けようとする	情報活用を振り返り、改善点を見いだそうとする	情報活用を振り返り、効果を見いだそうとする	情報活用を振り返り、観点を決めて評価し、改善点を論理的に考える	情報活用を振り返り、観点を決めて評価し、改善点を論理的に考える					
		b試行錯誤し、改善しようとする態度(自己調整)	繰り返し試し、プログラムの改善策を見いだそうとする	試作などにより、プログラムの改善策を見いだそうとする	試作などにより、プログラミングによる問題解決の方策を見いだそうとする	効率化の観点から、プログラミングによる問題解決を最適化しようとする【技術】	プログラミングの活用を振り返り、改善点を論理的に考える【技術】	プログラミングの活用を振り返り、オンラインや生成AIを活用しながら、改善点を論理的・協働的に考える【技術】				
		cコンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりに生かそうとする	プログラミングによる学びを、生活の中で使おうとする	プログラミングによる学びを、生活に生かそうとする	プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会づくりに生かそうとする	プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会づくりに生かそうとする【技術】	プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする【技術】	プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする(ステップ2と同じ)【技術】				
プログラミング 【主に数学・技術】	A 知識・技能	①情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	a記号の組み合わせ方の理解	正しく事象を分解したり、組み合わせたりすることができる	繰り返し、条件分岐、変数を含むプログラム制作(作成・評価・改善)が得意な命令の順次処理、条件分岐処理、変数(パラメータ)	意図した処理を行うための適切なプログラム制作ができる	問題解決のための安全・適切なプログラム制作ができる【技術】	問題発見・解決のための安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる【技術】	問題発見・解決のための安全・適切なプログラムの制作ができ、シミュレーション(モデル化)を行う方法を知る【技術】			
			b記号の組み合わせ方の理解に係るジェネリック問題解決の手順を設計する技能	手順を順序だてて説明できる	手順を図解し、説明できる	フローチャートなどにより表現できる	アクティビティ図などにより表現できる【技術】	図示(フローチャートなど)による単純な手順(アルゴリズム)の表現方法【技術】	図示(フローチャートなど)による単純な手順(アルゴリズム)の表現方法の向上【技術】			
			B 思考力・判断力・表現力等	②情報を活用する力	aプログラミング的思考	適切な手順の組み合わせを考え、実行できる	問題解決に向け、見直しを立てて手順の組み合わせを考え、実行できる	問題解決に向け、計画を立案し、他者と協働しながら実行できる	問題解決に向け、複数の計画を立案し、評価・改善しながら実行できる【技術】	両方向性のあるコンテンツによる問題解決【技術】 ○計測・制御のプログラミングによる問題の解決 ・計測・制御システムの仕組み、安全・適切な制作、動作の確認デバッグ等 ・問題の発見、計測・制御システムの構想と情報処理の手順の具体化、制作の過程や結果の評価、改善及び修正	両方向性のあるコンテンツのプログラミングを利用した問題解決の手順を知る【技術】 ○計測・制御システムの構成を理解することができる【技術】 ○情報処理の手順を考え、計測・制御を使った簡単なプログラムを作成することができる【技術】 ○課題の解決策を、条件を踏まえて構想する【技術】	
					b情報の分解・分類	プログラミングにあり、絵や図、簡単な表やグラフを用いて情報を整理できる	プログラミングにあり、表やグラフなどを用いて情報を整理できる	プログラミングにあり、目的に応じて、表やグラフを用いて情報を整理できる	プログラミングにあり、表やグラフを用いて情報を統計的に整理できる【技術】	プログラミングにあり、調査や実験等を組み合わせながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する【数学】	プログラミングにあり、調査や実験等を組み合わせながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する【数学】	
					c情報の関係付け	プログラミングに関し、情報の大体を捉え、分解・整理し、まとめられる	プログラミングに関し、情報の傾向、変化を捉え、新たな考えや意味を見いだせる	プログラミングに関し、情報の傾向や変化を捉え、解決策を考察できる	プログラミングに関し、情報の傾向や変化を捉え、解決策を考察できる【技術】	プログラミングに関し、情報の傾向や変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する【技術】	プログラミングに関し、目的に応じ情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする【技術】	
			C 学びに向かう力・人間性等	③情報活用への態度	a改善しようとする態度(自己調整)	繰り返し試し、プログラムの改善策を見いだそうとする	試作などにより、プログラムの改善策を見いだそうとする	試作などにより、プログラミングによる問題解決の方策を見いだそうとする	効率化の観点から、プログラミングによる問題解決を最適化しようとする【技術】	プログラミングの活用を振り返り、改善点を論理的に考える【技術】	プログラミングの活用を振り返り、オンラインや生成AIを活用しながら、改善点を論理的・協働的に考える【技術】	
					bコンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりに生かそうとする	プログラミングによる学びを、生活の中で使おうとする	プログラミングによる学びを、生活に生かそうとする	プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会づくりに生かそうとする【技術】	プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする【技術】	プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする(ステップ2と同じ)【技術】		
					cコンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりに生かそうとする	プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会づくりに生かそうとする	プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会づくりに生かそうとする	プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会づくりに生かそうとする【技術】	プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする【技術】	プログラミングによる学びを、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする(ステップ2と同じ)【技術】		
			情報モラル・情報セキュリティ 【主に総合的な学習の時間】	A 知識・技能	①情報モラルなどについての理解	a情報の活用(情報の信頼性)	自他の大切さを理解できる	自他の情報の大切さを理解できる	情報に関する自他の権利を知る	情報の信頼性を理解し、批判的な考察から判断し、正しい情報を適切に見ることができる	情報の信頼性を理解し、批判的な考察から判断し、正しい情報同士を比較することができる	情報の信頼性を理解し、批判的な考察から判断し、情報化による社会への影響を考慮することができる(ステップ2と同じ)
						b情報に関する個人の権利(著作・生成物)	自他の大切さを理解できる	自他の情報の大切さを理解できる	情報に関する自他の権利を知る	情報に関する自分や他者の権利を理解できる	情報に関する個人の権利と重要性について理解できる	情報に関する個人の権利と重要性について理解できる(ステップ2と同じ)
c情報に関する個人の権利(プライバシー)	情報技術の悪用に関する危険から自分の身を守る事ができる	情報技術の悪用に関する危険性の種類を考え、自分や他者の情報を守るための方法を理解する。				情報技術の悪用に関する危険性を考え、自分や他者の情報を守るための方法を理解する。	情報技術の悪用に関する危険性を考え、自分や他者の情報を守るための方法を理解する。	仮想的な空間の保護・治安維持のための、サイバーセキュリティの重要性を理解する。	仮想的な空間の保護・治安維持のための、サイバーセキュリティの重要性を科学的に理解する。			
d情報に関する自分の責任(誹謗中傷)	情報社会における自分の責任を理解できる	情報社会における自分の責任を考え、情報を発信できる。				情報社会における自分の責任や義務を考え、情報を発信できる。	情報社会における自分の責任や義務を考え、情報を発信できる。	情報社会における自分の責任や義務を考え、他者への影響を考慮して情報を発信できる。	情報社会における自分の責任や義務を考え、他人や社会への影響を考慮して、情報を発信できる。			
e情報に関する自分の責任(SNSでのコミュニケーション)	情報の発信や情報をする場合の責任を理解する。	情報の発信や情報やりとりする自分の責任を理解する。				情報の発信や情報やりとりする自分の責任を理解する。	情報の発信や情報やりとりする自分の責任を理解する。	社会は互いにルール・法律を守ることによって成り立っていることを理解する	情報に関する法規や制度を理解する。			
f情報に関するメディアとの関わり方(生活と健康)	情報メディアと自分の健康を考え、実践できる。	情報メディアと自分の健康面に配慮した関わり方を実践する				健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を身につける	健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を身につける	健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を身につける	健康の面に配慮した、日常的な情報メディアとの関わり方を身につける			
g情報に関するメディアとの関わり方(セキュリティ確保)	情報機器を使用する際の基本的なルールを守ることができる	情報を守るための基本的な方法を知り、使用できる				情報を守るための方法を知り、使用できる	情報セキュリティ確保のための対策を実施できる	情報セキュリティの確保のための対策の実施と、対応の方法を理解できる。	情報セキュリティの確保のための対策の実施と、対応の方法を科学的に理解できる。			
B 思考力・判断力・表現力等	③情報を活用する力	a情報モラルなどに配慮しながら情報を活用する力				インターネット上でルールやマナーを守り、情報を閲覧したり、発信したりできる	インターネット上などにある情報が正しいかどうか判断できる	ルールやマナーを守り、チャット、電子掲示板、Web、SNSなどを適切に利用できる	目的に応じて、チャット、電子掲示板、Web、SNSなどを適切に利用できる	目的に応じて、チャット、電子掲示板、Web、SNSなどを他者に配慮しながら適切に利用できる	目的に応じて、チャット、電子掲示板、Web、SNSなどを個人の権利とその重要性を尊重しながら適切に利用できる	
		b情報セキュリティを確保しながら情報を活用する力				自他の個人情報やデータを適切にアクセスしたり、不審なアプリケーションをダウンロードしたりしない	不審なメール、迷惑メールなどに適切に対応できる	セキュリティ管理のためのIDやパスワードを適切に管理、利用できる	目的に応じてアプリやインターネット上のサービス等を安全に利用できる	目的に応じてアプリやインターネット上のサービス等を情報セキュリティの確保のための対策・対応の必要性を理解しながら利用できる	目的に応じてアプリやインターネット上のサービス等を情報セキュリティの確保のための対策・対応の必要性を理解しながら利用できる	
		c責任をもって適切に情報を扱うこととする態度				自他の大切さを踏まえ、適切に行動しようとする	自他の情報の大切さを踏まえ、適切に行動しようとする	情報に関する自他の権利があることを踏まえ、適切に行動しようとする	情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、自分の責任を考慮して適切に行動しようとする	情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、自分の責任や義務を考慮して適切に行動しようとする	情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、自分の責任や義務を尊重して適切に行動しようとする	
C 学びに向かう力・人間性等	④情報モラル・情報セキュリティなどについての態度	a責任をもって適切に情報を扱うこととする態度	自他の大切さを踏まえ、適切に行動しようとする	自他の情報の大切さを踏まえ、適切に行動しようとする	情報に関する自他の権利があることを踏まえ、適切に行動しようとする	情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、自分の責任を考慮して適切に行動しようとする	情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、自分の責任や義務を考慮して適切に行動しようとする	情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、自分の責任や義務を尊重して適切に行動しようとする				
		b情報社会に参画しようとする態度	情報や情報技術を使おうとする	情報や情報技術を、生活に生かそうとする	情報や情報技術を、よりよい生活や社会づくりに生かそうとする	情報や情報技術を、よりよい生活や持続可能な社会づくりに生かそうとする	情報や情報技術を、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする	情報や情報技術を、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする(ステップ2と同じ)				

* 朱書きは生成AIを活用する